

## 12月定例会



# 補正予算など41件を可決

昭和五十四年十二月北九州市議会定例会は、十二月十一日から五日間の会期で開かれ、十二月十五日に終わりました。

今議会に市長から提出された議案は、「昭和五十四年度北九州市一般会計補正予算」など四十一件でした。

今回の補正予算の特徴は、将来の厳しい財政運営を見越して、多額の基金を積み立てたことです。

これらの市長提出議案は、それぞれ所管の常任委員会へ付託され慎重に審議されたあと、十五日の本会議ですべて可決されました。

また、議員提出議案は、十一件で、そのうち十件が可決され、一件が否決されました。

### 新春を迎えて

あけましておめでとうございます。激動の一九七〇年代もようやく終りを告げ、希望に満ちた一九八〇年の新春を迎えられたことと心からお喜びを申し上げます。本日も市制施行以来すでに十七年目を迎えました。昭和五十年を初年度とする新中期計画は本年三月をもって終了しますが、都市機能の充実や都市環境の整備に努力した結果、ほぼ所期の目的を達成することができました。

本年度からさらに引き続いて、新・新中期計画の実施に移ることになります。今後本市が目指す方向は、市民福祉や文化の水準を高め、市民参加による町づくりを進めて行くことにあると考えます。

地方の時代といわれる八十年代の幕開けにあたり、私共議員一同格段の努力を尽す所存でありますので、皆様の一層の御支援をお願い申し上げます。

北九州市議会

議長 吉田 浩明  
副議長 重田 幸吉

### 決った主なもの

#### 市長提出議案

◎北九州市営住宅条例の一部改正  
公営住宅法施行令の改正に伴い、入居収入基準を改めるもの

◎公有水面埋立てに関する意見  
北九州市が申請した新門司第二期埋立計画の公有水面の埋立てについて意見を求められたので、異議ない旨を回答するもの  
面積 約二〇三ヘクタール  
場所 門司区新門司一丁目から大字猿喰に至る地先水面

◎失業者吸収制度事業の存続及び活用に関する意見書  
(二面の最下段につづく)

#### 補正予算の概要

区分	補正前の額	補正額(増額)	補正後の額
一般会計	2,902億4,840万円	106億3,470万円	3,008億8,310万円
普通特別会計	2,065億3,764万円	1億5,306万円	2,066億9,070万円
企業会計	436億3,452万円	4億1,400万円	440億4,852万円
合計	5,404億2,056万円	112億 176万円	5,516億2,232万円

#### 補正の主なもの(全会計)

- ・道路、公園、河川の整備費 10億5,600万円
- ・道路、河川の維持費 2億円
- ・災害復旧事業費 1億3,100万円
- ・第二庁舎建設費 8億7,000万円
- ・社会福祉施設運営費 3億2,300万円
- ・基金積立金 49億5,400万円
- ・職員の給与改定費 23億8,500万円

◎北九州市都市計画折尾駅前地区第一種市街地再開発事業施行規程  
折尾駅前地区第一種市街地再開発事業を新たに施行するため、条例を制定するもの

#### 議員提出議案

◎土地の取得  
(仮称)海の少年自然の家用地として買入れるもの  
◎所在地 門司区大字喜多久  
◎買入れ金額 一億二千六百万円





### 質疑 応答

十二月十一日と十二日に開かれた本会議で、九人の議員が、議案に対する質疑や、市政一般に関する質問を行いました。その中から主なものを取り上げてみました。

### 市民の手による 町づくりを

#### 議員

財政運営は、国、地方を問わず極めて厳しい状況になると予想されます。市においても、今後の行財政運営について変革が求められなければならないと思います。市長の所信をおたずねします。

**市長** 経済の高度成長時代には自治体の財政も潤っていて、そこまで自治体があるべきなのかどうかというふうな議論が出るほどに行政サービスがふくらんできました。ところが、低成長時代になりましてから、そのような行政サービスをするに對して反省の気運が出て来ています。

したがって、今後は、真に行政としてなすべき範囲を明確にして行かなければなりません。それとともに、政策を実施して行くに當っては、あれも、これも実施して行くというのではなく、優先順位を考へながら実施して行かなければならないと思います。また、優先順位を決めるに當っては、できるだけ、市民の判断を求めようになければならないと思ひます。

#### 議員

当局は、新・新中期計画について、市民参加の町づくり計画であると強調しています。真の市民参加による町づくりのためには、計画の立案とその実行にあたり、徹底した市民との対話こそが基本になると思ひますが、市長の所信をおたずねします。

#### 市長

新・新中期計画の策定にあたりましては、過去の中期計画や新中期計画の場合より、幅広く多くの意見を吸収することに努めています。

一方的な押し付けでなく市民参加を徹底するという趣旨で最終案確定前に素案を発表し、市民の意見を聞いたわけです。今度の新・新中期計画は、市民と一緒に町づくりをやっていくという考え方で、実行にあたりたいと念願しています。

### 福祉の風土 づくりを

#### 議員

北九州市社会福祉協議会が行った調査によりますと、本市の身体障害者対策の実態は福祉の

風土にはまだ遠いという結果が出ています。また、身体障害者福祉モデル都市宣言を知らないものが半数を超えるなど、市民の間に身体障害者福祉に対する意識が十分に引きわたっていません。これに対する市長の所見と今後の対策をおたずねします。

#### 市長

本市の身体障害者対策は全国的にみても、決して遅れていないといふことはありません。

たとえば、総合療育センターで設置したもので、心身障害者対策の基礎的かつ重要な施設です。だが、まだまだ多くの問題点がありますので、さらに身体障害者福祉モデル都市の施策を進めていく所存です。

新・新中期計画の中で「福祉の風土づくり」ということをうたっておりますが、これは、市民一人一人が、人間として福祉を考へていく環境づくりを進めていくということとです。

#### 議員

本市の経済発展と雇用の創出を図るためには、既存産業の特性を生かした産業基盤の整備と、特に付加価値の高い産業を新しく誘致する必要があると考へます。産業基盤の整備と企業誘致には、

## 新・新中期計画をめぐって

### 産業基盤の 整備計画は

#### 議員

本市の経済発展と雇用の創出を図るためには、既存産業の特性を生かした産業基盤の整備と、特に付加価値の高い産業を新しく誘致する必要があると考へます。産業基盤の整備と企業誘致には、

どのように取り組みますか。

#### 市長

本市の産業都市としての特性を生かし、活力のある産業貿易都市づくりを目指して、不況の中でも新しい企業が立地できるよう、埋立地造成や道路、港湾、水道など、産業基盤の整備に努めており、今後も継続して進めていく考えです。

#### 議員

企業誘致については、新・新中期計画の中で、本市の産業にとつて望ましい企業の誘導を図るため、企業の立地に関する情報の集約や提供などを行う「(仮称)企業立地情報センター」の設置を考へています。また、市の機構の中にも、企業誘致に関する業務を扱う窓口を、経済局に設ける考へています。

### 56年度に着工予定 — 商工貿易会館 —

#### 議員

本市の経済基盤からみて、中小企業対策は行政上特に重要な問題であると思ひます。こうした使命を果すため、市は近く商工貿易会館の建設に着手す



天神島駐車場

◎石油製品の適正価格の維持と供給の安定に関する意見書

◎私立高校助成の増額に関する意見書

◎温水プール建設費補助の増額に関する意見書

◎超過負担の解消に関する意見書

◎老人医療費無料化制度の存続に関する意見書

◎児童手当制度の存続に関する意見書

◎教科書無償給付制度の存続に関する意見書

◎電気、ガス等公共料金の値上げ抑制に関する意見書

◎核兵器の製造、保持、持込み等の禁止に関する法律制定に関する意見書

るそうですが、この会館の構想やその規模などの概要をおたずねします。

#### 市長

建物の延面積は一万平方メートルで、地下二階、地上九階の建物になる予定です。場所は小倉北区の天神島駐車場、テナントとしては各県の事務所、貿易関係の団体、貿易研修センター、県の下請企業振興協会、市の中小企業育成公社、中小企業共済センターなど中小企業に関係のある機関が入る予定です。

建設計画ですが、まず、現在二、三台の収容能力のある駐車場を、敷地の東側に三〇〇台収容できる立体駐車場にして、その後に会館の建設に着手することになります。

着工は、五十六年度の前定です。また、駐車場の建設と同時に会館の前面地下にモノレール用の変電所をつくることになっていきます。



### 体育指導者の育成を

議員 最近、市民の間で余暇利用や成人病予防のために、スポーツへの関心が高まっています。

各校区ごとに体育指導者がいますが、行政で指導者の研修などを行い、全市的な運動として、スポーツの奨励、振興を図るべきだと思いますがいかがですか。

教育長 昨年六月から体育指導者確保のため、スポーツリーダーバンク制度を設け、七百人を超える指導者が登録されています。

また、二五五人の体育指導委員を委嘱し、校区ごとに市民と密着したスポーツ活動の奨励に協力していただいています。

この指導委員は全国、地区プロ

### 県に働きかけを

#### 公立高校の増設

議員 公立高校の増設については、八幡西区に県立北筑高校、小倉南区に県立小倉東高校と、相次いで設置されました。

しかし、八幡西区及び若松区を含む第四学区は、公立高校の収容率が県下でも厳しい状況にあるなど、依然として、市民の公立高校増設を願う声は切実です。

今後、どのように県に対して要望を強めていけるのか、また、市としても市立高校の新設を検討すべきだと思いますが、併せておたずねします。

教育長 県下の高校新設計画については、昭和五十年に、「高等学校進学者の収容対策に関する協

議別、県単位などの研修会に参加しており、全市及び区ごとに連絡会議を持つなど、自己啓発を行い、技術の向上に努力しています。今後とも市民の体力づくり、スポーツ振興のため指導者研修会の開催など指導者育成に努力してまいります。



### 私学助成の拡充を要望

議員 私学への助成を大幅に増額し、父母負担の軽減を図ることには、市民共通の願いであり、とりわけ、私立高校に対する助成の拡充を望む声は、切実なものがあります。

ところが、本市の私立高校に対する助成は、他の指定都市に比べ十分とはいえません。

来年度の子算編成にあたり、どのように取り組んでいけるのかおたずねします。

教育長 私立高校に対する経常費の助成などの私学助成は、本来県が行うこととなっており、県においても、年々、予算の増額をしてきたところです。

本市としては、機会あるごとに予算の増額を働きかけており、今後も強く要望をしてみたいと思います。

市としても、現在、私立高校に対して、研修費、設備整備費について助成を行っておりますが、市の方針として、義務教育関係の整備充実には、重点をおいていきたいと考えています。

### 学童保育の充実を

議員 新・新中期計画の素案によれば、児童館を二中学校区に一館ずつ設けることになっていきます

が、小学校一〜三年生のカギっ子を対象にした学童保育クラブについての増設計画がありません。これでは、子供達の非行化防止対策として十分とは思えません。

放課後の学童保育を児童館に包含するという方針であれば、最低一小学校区に一館は必要と考えますが、いかがですか。

市長 児童館につきましては、児童福祉審議会から、二中学校区に一館の割合で建設をするよう、答申がありましたので、その線に沿って整備を進めています。

児童館がまだ建設されていない地域につきましては、地域全体の総意により運営委員会が設置され土地、建物が確保できるといふ条件が満たされれば、学童保育クラブの制度を適用し、市が助成をしていく考えです。

議員 現在、学童保育クラブは三十人学級で指導員が一人しかいません。しかも、市からの助成金は年間約百三十万円だということですので、これでは、十分な保育はできませんので、今後、内容を充実させるとともに、積極的に増設を図ってはどうか。

市長 学童保育クラブの助成につきましても、情勢を見ながら、適正化を図っていきたいと思います。数さえ増えればよいという考え方でなく、本当に子供の非行化防止に役立つと自信が持てることから、助成をしていきたいという気持ちです。

### 当面試行を継続

#### 米飯給食

議員 本市においては、現在、米飯給食の試行が実施されていますが、児童の評判も非常に良いと聞き及んでいます。

戦後の米不足時代がもたらした

パン給食は、すでにマンネリ化しており、栄養のバランスのうえで、もすぐれている米を食べることは、非常に有意義なことであり、余剰米対策の一環として農家経済にも寄与します。

早急に、拡大実施を行うべきだと考えますが、当局の計画をおたずねします。

教育長 昭和五十三年十一月から、四校三千人、五十四年九月から、六校三千人、計十小学校、六千人の児童を対象に、月一回の米飯給食の試行を行っています。

試行では、児童の反応や、残量等を調査していますが、配食時間や配食時の暖かさも適当で、残量も少ないという結果がでています。



試行中の米飯給食(青山小学校)

一年を経過した時点で、アンケート調査を実施することにしており、現在、調査依頼中です。

当面、試行を継続しながら、調査結果を十分に検討し、学校給食審議会の意見も聞いて、対処してまいりたいと思います。



### 保育料値上げ

#### — 市立幼稚園 —

議員 今回、市立高校の授業料や、市立幼稚園の保育料などを改定する提案がされていますが、値上げの理由をおたずねします。

また、これが私立幼稚園の値上げにつながることはありませんか。

教育長 県では、五十五年度から県立高校の授業料などの値上げを予定しています。市立高校については、従来から県立高校に合わせ、従来から県立高校に合わせ改定をしたと考えています。

しかし、県のように一度に引き上げるのではなく、五十五年度と五十六年度の二度にわけて引き上げる方法をとっています。

また、幼稚園については、五十五年度に改定して以来四年間据え置かれているため、公私立の格差は大きくなってきており、負担の適正化をはかる必要があります。

このため、私立幼稚園の保育料、他の政令市の改定状況、高校の授業料の改定状況などを総合的にみて、今回の改定に踏み切りました。

次に、私立幼稚園の値上げについては、本市からの就園奨励費などの助成金を始め、県においても運営費の大幅な助成を行っているため、今回の値上げが私立の値上げに結びつくということはないと思います。

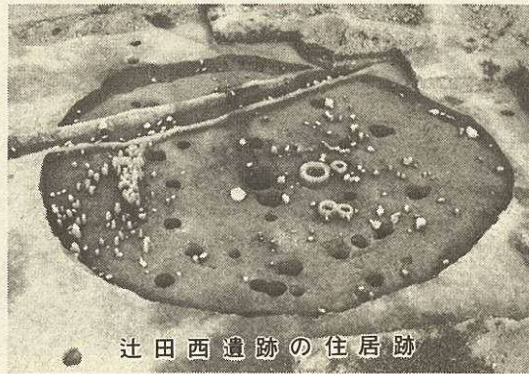
### 埋蔵文化財の

#### 保存・展示を

議員 八幡西区の辻田西遺跡で発見された住居跡は、県内でも数

少ない、原形をよくとどめた弥生中期の遺跡として、きわめて高く評価されていますが、発掘調査、破壊されることになりました。これら埋蔵文化財は、郷土の歴史を探究する上で、かけがえのない資料であり、静岡県の登呂遺跡のように、現地に保存、展示をしてこそ最も価値があると思います。

辻田西遺跡住居跡の完全復元による保存と、出土品の展示のための資料館を設置する考えはないかおたずねします。



辻田西遺跡の住居跡

教育長 住居跡など、貴重なものについては、復元、保存を図っていきたくは考えていますが、辻田西遺跡は、農業改良事業の実施のため、現地の買収が困難です。

出土品の展示については、現在、戸畑市民会館の中で、常設展示を行っておりますが、考古センターということも検討中です。

香月、馬場山、辻田西遺跡などの

出土品の展示については、公民館などの郷土資料室を利用したいと考えています。

### 東谷地区の

#### 水害防止対策は

議員 小倉南区の東谷地区は、昨年夏の豪雨により被害のあったところですか。

この地区は、鉾石採掘が盛んなところであるため、採掘現場周辺は保水力に乏しく、鉄砲水の原因にもなっています。

このため、抜本的な水害防止対策として、調整池の設置や平尾台の植樹で、保水力を高める方法を考えてはいかがですか。

市長 調整池を設置する場合、約七万立方メートルの容量が必要だとされています。

しかし、この地区の地形は平坦であるため、広い農地を買収して掘削しなければならず、多額の費用がかかります。

また、三菱セメントの沈砂池を調整池に転用してはとの意見もありますが、この沈砂池では一万七立方メートルしか溜めることができず、五万三千立方メートルの調整池を新たに造らなければなりません。

このため、調整池を設置するより東谷川の本改修工事を行うことが、水害防止対策としては得策であると考えています。

なお、この問題については、より良い対策があるかどうか、更に検討してまいります。

経済局長 平尾台の一部には、わずかですが、杉、ひのきなどの

植樹を行っています。

しかし、他の部分については、土質がやせているため、林業的な植林は不可能だと思えますが、国や企業などの関係者とこの問題について協議してみたいと考えています。

### 水洗化100%を目ざせ

#### — 下水道整備地区 —

議員 本市の新・新中期計画の素案によれば、下水道普及率九十九パーセント、水洗化率百パーセントを目指していますが、現在下水道が整備されて三年を経過しても、水洗化されていない家庭が約一万八千戸もあります。

そのため、この計画では、水洗化あつせん委員会等を設けて水洗化の促進を図るとしていますが、その対策をおたずねします。

下水道局長 水洗化を促進するため、未水洗化の原因調査を五十五年度を実施し、水洗化促進本部及び各区に設けられている水洗化実施本部の協力を得て、実態に即した普及対策を立てる考えです。

また、水洗化に伴う住民の軽易な紛争については、これまで市が仲介して話し合いを進め、その解決に努めてきましたが、今後は法律の専門家を含む水洗化あつせん委員会において解決していきたいと考えています。

### 河川整備の促進を図れ

議員 都市河川は、都市の静脈といふべきものであり、これが汚れていては、都市の美観を保つことができません。

特に河口においては、上流からの汚れが蓄積され、しゅんせつなどによる整備が待たれていますが、その対策をおたずねします。



河川の改修

市長 都市河川の整備については、新中期計画の中で力を入れてやってきました。特に、国及び県の管理する市内の主要な河川の改修は、順調に進んでいます。

しかし、その他の小さな河川は、あまり改修が進んでいないため、新・新中期計画の中で、下水道の普及と併行して、予算を相当増額し、整備に努めてまいります。

### 人事紹介

十二月定例会で、次の方々が決まりました。(敬称略)

人権擁護委員候補者

高木 正毅・生野 ヒサ

阿部 明男・加藤 正夫

白石 止・浦井 龍章

牧野美彌子